

# 特別支援教育

## 1. 目 標

- 一人ひとりの障害や発達段階に応じて適切な支援を行い、可能性を引き出し伸ばすことによって、よりよい学校生活・社会生活をおくることができる子どもを育てる。
- お互いを認め合い、思いやりのある子どもを育てる。

## 2. 努 力 点

- 全職員が、支援を必要とする子の障害の特性の理解を深め、生活や教科指導に関する具体的な指導方法のあり方についての研修を積み、共通理解をもって指導にあたる。
- 日常生活や学習活動の観察や保護者からの情報などから、問題となっているつまづきや困難などの状況を正確に把握するよう努める。
- 子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じて、目標、手だて、実施方法や期間等を具体的に設定していく。
- 交流学級担任等との連携を密にしながら指導にあたる。
- 児童の保護者との連携（情報交換）を密にするよう心がける。
- 全校児童に、心身の障害をもつ子どもに対する正しい理解と認識を深める。
- 特別支援教育についての研修を深め、保護者・地域社会に理解してもらえるように啓発する取り組みを進める。

## 3. 取 り 組 み

### ○なかよし学級

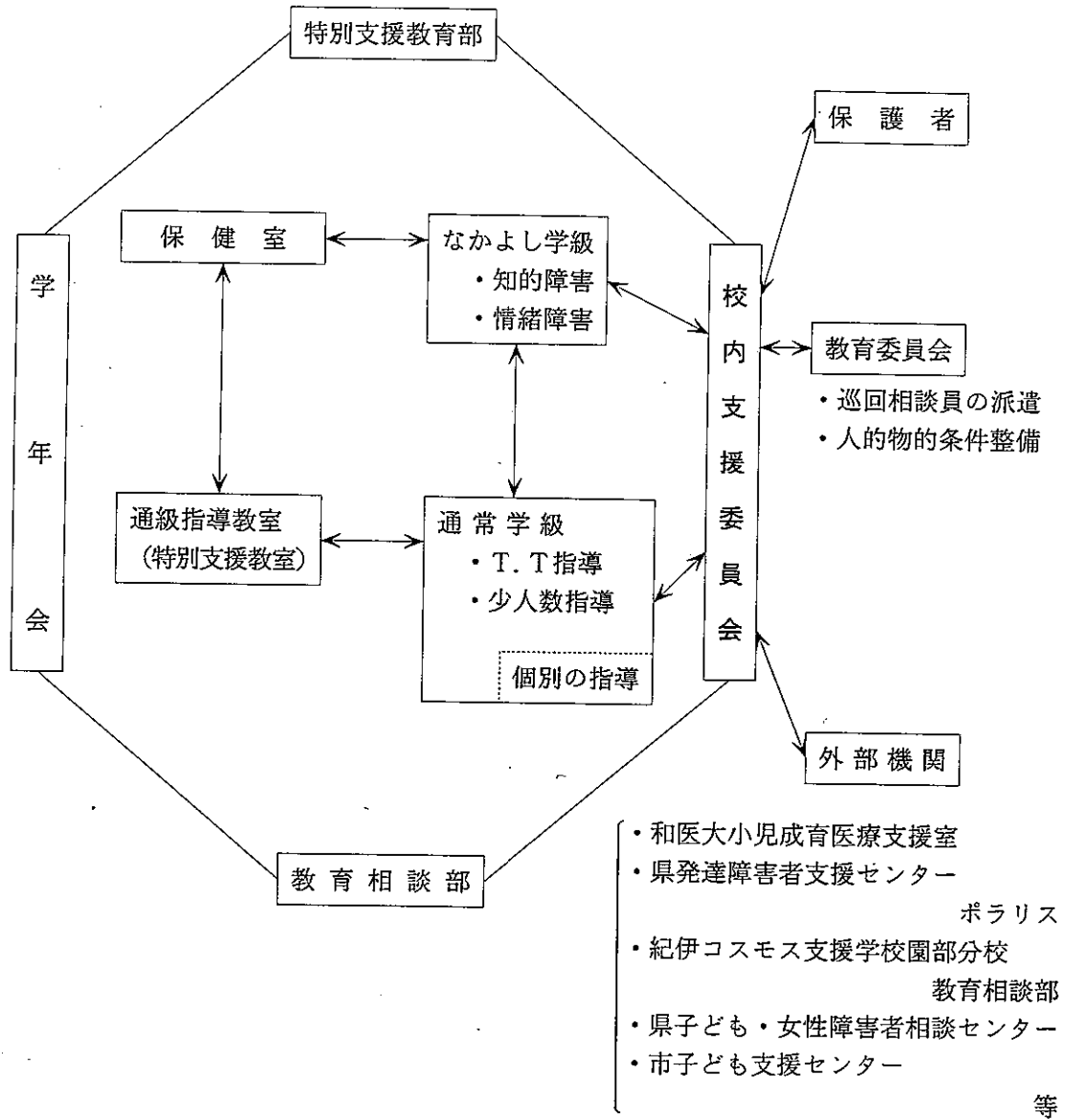
- ・基本的な生活習慣を身につけさせる。
- ・運動能力を高め、楽しく遊べるようにする。  
基本的な運動、リズム感、遊びのルール。
- ・個々の児童に応じた学習をし、自信をもてるようにする。  
生活単元学習を通して生活力を養う。  
数の基本がわかる。  
対話を中心とし、読む力、書く力を伸ばす。
- ・自分らしさを出し、なかよく、楽しく活動できるようにする。
- ・教材教具の整備充実につとめる。
- ・全児童との交流の場をつくる。  
開級式 6年がなかよしの学級の飾り付けを行う。  
全児童が花飾りをプレゼントする。  
その他  
(1) 交流給食 ・交流学級で週3回。  
・全学級1グループ（6人程度）ずつ代表で交流給食をする。  
(2) 学年交流 ・子どもの実態に合わせて行う
- ・全職員との交流の場をつくる。  
なかよし学級の活動への参加  
交流給食

### ○特別な支援を要する児童の指導

- ・特別支援教育についての話し合いの場や発達障害（LD・ADHD・高機能自閉症等）の特性などの研修の機会をもつ。
- ・行動面・学力面で気になる児童について話し合う機会を定期的にもつ。  
（校内支援委員会、特別支援教育部会、全体会）
- ・個別指導が必要な児童については、生活や教科指導に関する具体的な指導方法のあり方や対応を特別支援教育部会において検討する。
- ・特別支援教育部会を中心に特別支援教育についての理解・啓発活動を進めていく。

- ・交流学級担任と常に連絡を取り合い、相談し合って指導にあたる。
- ・なかよし学級について保護者に正しく理解してもらう。  
(「なかよし学級の開級にあたって」・学校だより・学級懇談会等)

### 特別支援教育の体制



### 校内支援委員会

- ・校長、教頭、教務主任、特別支援教育部主任、特別支援学級担任、教育相談部主任、養護、特別支援教育コーディネーター、該当児童担任
- ・校内体制づくり
- ・外部機関との連携、調整等
- ・保護者相談の窓口となるとともに、理解推進の中心となる。 等

### 特別支援教育部

- ・特別支援学級の支援

- ・通常学級の支援
- ・学習面や行動面で特別な支援を要する子に早期に気づく（チェック表を活用）。
- ・特別な支援を要する子の実態把握を行い、学級担任の指導への支援の手だてを考える。
- ・保護者や関係機関と連携して、特別な支援を要する子の個別の教育支援計画を作成する。
- ・担任、コーディネーターと連携して、特別な支援を要とする子の個別指導計画を作成する。
- ・発達障害の子どもとの理解と対応、その保護者との連携について、全教職員の共通理解を図る。  
また、そのための校内研修を推進する。
- ・専門家に判断を求めるかどうかを検討する。

#### 特別支援教育コーディネーター

学校内の関係者や外部との関係機関との連絡調整、保護者に対する相談窓口、担任への支援、校内支援委員会の運営や推進

（校内における役割）

- ・校内支援委員会のための情報の収集・準備
- ・担任への支援
- ・校内研修の企画・運営（特別支援教育部主任と共に）

（外部の関係機関との連絡調整などの役割）

- ・関係機関の情報収集・整理
- ・専門機関等への相談をする際の情報収集と連絡調整
- ・専門家チーム、巡回相談員との連携

（保護者に対する相談窓口）

#### 個別指導計画（別紙参照）

#### 個別のファイルを作成

フロッピーディスクに保存（プロフィール・個別指導計画等）し、次年度へ引き継ぐ

#### 4. 年間計画

学期	月	内 容
一 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会、全体会（開級式、入級児の様子、本年度の活動）</li> <li>・開級式（4月）、父母との懇談</li> <li>・精神科医による相談の申し込み</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会、全体会（開級式、交流について、入級児の実態報告（5月）</li> <li>・第1回校内支援委員会（5月）</li> <li>・特別支援教育研修（5月）</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流給食スタートする。</li> <li>・新しく来られた先生との交流</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会（特別な支援を要する子について…実態、取り組みの交流）</li> <li>・第1回校内就学指導委員会</li> <li>・部会（特別支援教育研修、通知表等）</li> </ul>
二 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会（①気になる子…入級対象児、学級での気になる子→気になる子の集約②運動会について）</li> <li>・全体会（入級対象児、気になる子の実態報告（9月）</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導</li> <li>・第2回校内支援委員会</li> </ul>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度なかよし学級入級児調査（発達・知能検査等）</li> </ul>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学時健診 部会（特別な支援を要する子について等）</li> <li>・市の就学指導委員会より新入児の結果通知</li> <li>・第2回校内就学指導委員会</li> <li>・冬休みまでに、担任、部が家庭訪問をし、入級指導</li> </ul>
三 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回校内就学指導委員会、全体会（入級指導経過報告 入級児決定 1月）</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回校内支援委員会</li> <li>・部会（今年度の反省、来年度の運営等について）</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年でチェックリストを実施する。</li> <li>・全体会（今年度の反省、来年度の運営等）</li> </ul>